

計画の名称	5 海上交通ネットワークを活用した産業振興により快適で活力あふれる大隅地域の形成(地域活性化)
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)
計画の目標	交付対象 鹿児島県, 志布志市

・大隅地域は日本有数の農畜産地帯となっている。重要港湾・志布志港を中心とした港湾の整備により、県内外との交通ネットワークの充実を図り、地域産業である農林水産業の振興、大隅地域経済の活性化を支援し、大地の恵みに輝き未来へつなぐ地域を形成する。

計画の成果目標(定量的指標)

- ・志布志港におけるフェリー利用客数及びフェリー一貨物を確保し航路を確保しつつ旅客数、貨物等の増加をめざす。【港湾の安全性・利便性の向上】
- ・鹿屋港において防波堤の整備により異常時に避難係留可能な係船岸の増加を図る。【小型船だまりの整備】
- ・各港において施設の効用が失われる時期を延伸するため、機能の改良を行い、施設の維持を図る。【既存施設の延命化のための改良】
- ・環境学習の場と港湾緑地の整備により、環境意識の向上と自立の社会づくりをめざす。【港湾周辺地域の活性化】
- ・各港において施設の長寿命化計画及び対策を行う。【長寿命化計画策定】

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

	当初現況値	中間目標値	最終目標値
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)
【港湾の安全性・利便性の向上】 大阪志布志航路(さんふらわあ)の年間延べ乗降客数を調査する。	145千人 1日/2便	148千人 1日/2便	152千人 1日/2便
【小型船だまりの整備】 現地調査調査及び利用者聞き取りにより異常時の避難係留可能隻数を算出する。	30隻	50隻	100隻
【既存施設の延命化のための改良】 既存施設が機能上支障を来さない安全率を算出 「既存施設の機能障害安全率」=(評価年度における機能上支障がない施設数/延命化改良計画を行う各港の全利用施設数)×100(%)	66%	74%	100%
【港湾周辺地域の活性化】 みなと環境美化活動の参加人数を調査する。	700人		1,000人 (43%増)
【長寿命化計画策定】 長寿命化計画の策定率を算出 「長寿命化計画策定率」=(評価年度における長寿命化計画を策定した施設数/長寿命化計画を策定する全施設数)×100(%)	22%	86%	100%

全体事業費

合計 (A+B+C)

952百万円

A

927百万円

B

百万円

C

25百万円

効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)

2.6%

交付対象事業

A1 港湾事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
【港湾の安全性・利便性の向上】																	
【小型船だまりの整備】																	
5-A1-4	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	建設	防波堤(沖)(南)	延長 L=150m	鹿屋港・鹿屋地区						800	
【港湾周辺地域の活性化】																	
5-A1-25	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	みなと振興	緑地	緑地②A=10ha	志布志港・新若浜地区						127	
小計(港湾事業)												927					
合計												927					

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26				
合計																	0	

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
5-C1-1	港湾	内地	志布志市	直接	志布志市	みなと振興	港内の環境学習看板・学習館設置, 照明灯設置	看板, 照明灯, 環境学習館	志布志港・新若浜地区						25	
合計												25				

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

5-C1-1 港湾事業(5-A1-25)と一体的に環境にやさしい緑地や自然海浜植生植物の学習ができる緑地の創造を図る。

(参考様式3)

(参考図面)活力創出基盤整備

計画の名称	5 海上交通ネットワークを活用した産業振興により快適で活力あふれる大隅地域の形成（地域活性化）	
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象 鹿児島県、志布志市



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:海上交通ネットワークを活用した産業振興により快適で活力あふれる大隅地域の形成(地域活性化)

事業主体名:鹿児島県, 志布志市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①計画が上位計画等と適合している。	○
②地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
③数値目標や指標を用いるなど, 客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
⑤指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
⑥指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
⑦十分な事業効果が見込める。	○
⑧他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑨計画の具体性など, 事業の熟度が高い。	○
⑩地域の協力が見込める。	○
⑪関連する地方公共団体等との調整が図られている。	○